

第一回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会 議事要旨

日程：平成 19 年 10 月 22 日（月）

09：30～12：00

会場：本宮市役所 3F 大会議室

質疑応答

(1) 設立趣意書(案)、懇談会規約(案)、懇談会の公開方法(案)

事務局で説明後、特に質問が無く、委員全員の賛成で了承された。

意見交換

(2) 懇談会の背景と趣旨、懇談会の検討内容とスケジュールについて、本宮左岸地区の現状とまちづくりの方向性について

(発言者) : 委員 : 事務局

殆どの旧商店街が県道側に向いている。今回、川とまちづくりのことを考えると、阿武隈川の被害の問題だけを考えてしまい、遊びやふれあいの場がなかなかとれない。

川に向かって飲食店や商店街がつかれるような方向性をこの懇談会で検討して欲しい。行政的な手腕で交通整理しなければ難しいと思う。難しい地域もあり全部は出来ないかもしれないが、一部分でも川に向かった商店地域や遊びの地域等をつくることを考えていけば、これからの新しいプランとなるのではないか。

一般に、これまで治水一辺倒でやってきた歴史があり、ある所から利水や環境・親水を取り組む必要となったのが平成9年の河川法改訂の考え方であり、そこからいろんな所で花が咲いて来ていると考えている。

本宮の場合は、決して治水対策のみではないと考えており、これが懇談会の設立趣意でもある。まちづくりと一緒にやっていくということが基本的な考え方である。

但し、治水対策でもあるのでどうしても出来る所出来ない所の限界はある。そこは、皆さんの意見を聞きながら出来るものは反映し、出来ないものはきちんと説明してご理解を得ていきたい。

スライドのP23～25(別添資料 - 5 懇談会資料参照)について、具体の治水の堤防の条件やまちの影響の関係は場所によって違うと思う。委員の方は出来高の関係をイメージしないと考えにくいと思う。

例えば、Aゾーン(百日常川～昭代橋間)の完成のイメージの中でどのようなものが出来るのか。堤防の嵩上げの中でどういうものが可能なのかイメージ出来なければ委員も意見が出ないと思う。資料に図面も入っているので事務局より説明をお願いしたい。

Aゾーン(百日川~昭代橋間)については、今入れている絵は土堤とした場合をイメージして描いている。これ以外には特殊堤という壁が立つような例もあり、この場合は堤内地側の用地への影響を小さくすることが出来るが、川とまちの間に壁を作ってしまうというデメリットもある。今日見た堤防の高さよりも約1~1.5m高くなるものとイメージして欲しい。

Bゾーン(昭代橋~薬師堂付近間)については、一つの案としては、今ある特殊堤の壁より約1~1.5m壁が高くなる構造が考えられる。この場合は、用地は殆どかからないが、壁が高く人の背丈では川を望めないような形になってしまう。

Cゾーン(観音堂付近~鳴瀬地区)については、Aゾーンよりも影響の範囲は比較的少なくなるが、通常の堤防であれば法足が出てしまうので現在の住宅地に少なからず影響は見られる。

今回は概略的な堤防のイメージを提示したが、各地では様々な堤防の構造が実践されているので、次回は、その辺を整理して皆さんにイメージを見て頂き議論してもらえる資料を提示したい。

例えば今の堤防より1m50cm上げた場合、通常の土堤では堤防上の道路は5mになるとのことであったが、住宅側は何m程度後ろに下がらなければならないのか教えて欲しい。

堤防の高さによって多少差があるが、目安としては5m、地盤によっては7~8mとなる所も出てくる。

今よりもパラペットの上に1.5m嵩上げすると川を望めなくなる状況となる。この場合にまちづくりとしてはどのようなことが出来るのかが議論のポイントである。

現状からどの程度影響するかが確定しないと住宅がどうなるか分からない。作業手順としてはどのようなものになっているのか。地権者の協力を得られないと難しいと思う。住んでいる人の希望もある程度取り入れなければこの事業は完成しないと思う。みんな、どのくらい用地が必要となるのか心配している。

県道の拡張も話に出てくる。後ろからも責めてこられると今のところはどんどん狭くなる。そういう構想を早く知りたいという人がいる。

弁天の土地改良区で県や国にお世話になったときは改修に3年ぐらいかかった。43件程度の地権者がいて、そのうち建物は2件あった。今度は交換ということは生じるのかはわからないが、具体的な構想が無いと進めづらい気がするので、よろしく願いしたい。

次回には何案か具体のイメージを提示して議論して頂きたい。そして、議論して頂いたものを地域の人に説明し意見を伺いたいと考えている。

堤防とまちづくりを進めるにあたっては他の事例などもあると良い。

せっかく家を建て替えたばかりの人はどこに行けば良いのか困ってしまう。私が聞いた所では100戸を超えるのではという話もある。堤防際の住宅の移転先のことも考えていく必要があるので、難しいとは思いますがよろしく願いしたい。

安達太良川と阿武隈川の合流点付近に住んでおり、最近犬を連れて散歩している。安達太良川合流点で一端県道まで戻らなくてはならない。何故このようになったのか。今度の検討でつなぐことは可能なのか。

検討会の中では今頂いた意見も含めて、検討していきたい。

経緯としては、安達太良川の改修に伴い以前は管を入れた構造を開削（変更）することとなり、橋を架ける必要があったが、どこに橋を架けるかといったときに、今ある県道や町道等に架け替えた経緯があったと思う。

河川としては、県主催の河川敷とまちなか清掃が年に2～3回程度あり、その中で、支川の安達太良川の清掃をしている。

安達太良川を改修した当時は川の中に置き石をしており、当初は景観が良かったが、今はヤナギの木が連立している。チェーンソー等の機械を入れて一斉に伐採・掃除をした。河川敷を綺麗に作るのには良いが、その後の維持管理も必要であり、いかに長持ちさせることも考えていくことが大切である。今は直径30cmの巨木になっており、住民が何でも管理していくという訳にはなかなかいかない。

また、河川敷に黄色い花がたくさん咲いているが、鉋や鎌ではなかなか切れないほど固い。我々住民としてどこまで応援していけば良いのかといった切実な思いがある。

黄色い花は外国から洋材を輸入した際に種が入ってきたと聞いている。繁殖力が大きくどんどん増えている状態にある。

根は非常に浅く抜くことが出来る。自分の所だけ除草しても隣の所は黄色く、昔の菜の花畑と同じようになる程広がっていく。増えるだけである。

堤防と環境は大変なことに遭遇している。何か良い方法があれば教えて欲しい。

私はBゾーン（昭代橋～薬師堂付近間）の中に住んでいるが、表は県道で裏は川となっている。これからどうなるかというときにイメージがわからない。

Bゾーンの中心程度では表通りは県道整備が進んでいる。そこから川上は川と県道が狭くなっており、そこをみんなで考えようという話にはなっているが、まだ絵が無いのでまだ議論が出来ていない。

川と親しもうということイベントをやっているが、安達太良川程度の川なら良いが、阿武隈川はなかなか難しい。歴史・文化という観点ももう少し入れて欲しい。

確かな情報ではないが、埼玉県の川越市は昔の城下町で大きな川があり、昔の本宮の築堤と似ている。そこも水害が多く、国の補助等により大改修を行っている。

阿武隈川の下流の梁川では、洪水により大災害が生じ、大改修を行い大きく変わったと聞いている。そういった所を写真でも良いので提示して、これからの討議に参考にして欲しい。

梁川は、素晴らしいまちの中の堤防となっている。まち全体を市街化区域として綺麗にして堤防とあわせて作っている。

梁川は新しいまちづくりと治水の堤防づくりが両立した事例でもあるので、もし可能であれば参考にするのも良いと思う。

私は昭和13年生まれで、ずっと阿武隈川で遊んでいた。

今回の検討の中で、一番はやはり水害をいかに防ぐかがポイントであることは変わらない。治水と背後のロケーションがどうなるかが話になる。また、それにあわせて道路がどうなるのか早く知りたいという声が聞こえてきている。

今後も議論しながらいろいろ意見を述べていきたい。

この懇談会は、基本的には阿武隈川の治水に対する安全性をどうするのが中心であるが、本宮市街地は南北に長く、阿武隈川以外に道路としては国道4号や、県道須賀川二本松線等があり、それらが住民の生活において重要な位置を占めている。

それぞれが単独の計画を立ててもそれだけになってしまう。このような機会にいろんな意見を伺い、道路としては、出来るもの出来ないものがあるが、今後どのような整備の手法で、どのようなものが出来るかを模索していきたい。

年度内には一つの案としてとりまとめ、背後の土地利用も含めて堤防をどうするか、川側の土地も含めて今後どう利用するか等を案として年度内にとりまとめたいと思っている。

ただし案が出来てもそれを全てを実施するのは関係機関との調整が必要となるので、案として実現できるものは随時次年度以降進めていきたい。その議論の出発点は本年度中に作りたい。

今回は自由な意見交換の場としたが、次回はより具体の議論となる様に準備したい。

本宮の堤防について陳情しており国土交通省の河川課にも行って懇願してきた。本省も理解されており力強さは感じたが、いつ頃予算が付くのか。

住民の意思を代表して言っているのでは是非お願いしたい。

河川整備計画の中でも位置づけているがこの計画自体は30年もかかるものであり、少なくとも最初の10年の中で仕上げるぐらいのつもりで今第一歩を踏み出した。20年度以降早い時期に事業に入れるようにしたいと思っている。ゴールについては10年のスパンを考えている。

まちづくりの中で、近辺にも大型店が北・南にあり、中にも商店街がある。A～Cのゾーンの中に、どのような業種の商店があるのか分析する必要があると思う。生活道路といった話があったが、生活する上ではものがそろわないと生活出来ないなので、そのような分析も参考に行って欲しい。

次回の懇談会は、11月下旬から12月上旬を考えている。

今回頂いた意見をとりまとめ、次回の検討内容を考えていきたい。

日程については後日調整させて頂きたい。